

http://www.minamih.net/



11・1・22(土)
南NEWS NO61

やったね！全日本！ベスト4！

10人になっても、自分を信じ、チームを信じ、最後まであきらめない！教わるのがたくさんあった。

○サイド攻撃の大切さ

○ダイレクトプレーの大切さ

逆転の決勝ゴールに結びついたボランチ長谷部からの香川へのくさびのパス。かなり長い距離だったけど、鋭く速いグラウンダーの縦パス・香川へのパスで、あの得点が生まれた。

○常に相手の裏をねらうこと。

岡崎は常に相手の裏をねらっていて、得点していること。裏へのパスを出すMF・DFの観る力・判断。

○第二線、第三線の選手が前の選手を追い越してチャ

ンスを創り、得点している。

左MF香川は常に第一線の岡崎を追い越して得点をねらっていた。1点目も香川のパス&ムーヴの動きで生まれた。

(交替させた方がいいよ)と思って観ていた右DF伊野波がゴール前に詰めていて決勝ゴール。

○手を使ったファールが多かったこと。それでピンチを招いていたこと。

吉田の退場もしなくていいファールだったよね。ノーファール！大切だね。

新春フットサル 2011.01.10

6年 南 4-8 7小7人の小人たち (前半 2-3)

開始から緊張してしまい、前半すぐに相手キックインを決められ、浮足立ってしまいました。

それでも、間接フリーキックを相手に強烈に当てて国広君が決めると、川窪君のコーナーキックを小原君がヘディングシュートして前半を2-3で折り返します。後半には青木君のディフェンスがよくなりますが、緊張からか、チーム全員、味方が目に入らず孤立したプレーとなってしまいました。

後半には横山君がハーフからのフリーキックをきれいに決め、4点目は相手のすきを見て小澤君がキックオフのちょん蹴りをゴールにたたきこみました

2011.01.15

6年 南 1-5 FCグリフィンドール (前半 0-3)

前試合で苦労した「ゴールスローがハーフラインを越えてはいけない」というフットサル特有のルールに打開策をもって臨みました。

原山コーチにも応援をお願いし、当日の練習では戦術の指導、試合では選手のモチベーションを上げる声をかけて盛り上げてくれました。

開始からシュートを撃ちますが、4分にゴールを決められると流れが悪くなり、こぼれ球やパス1本でシュートを決められてしまいます。

それでも、個々ではアプローチも速く積極的にドリブルで仕掛ける場面も多く、勝つ気持ちを全面に出して前回以上の戦いをします、

後半3分に横山君が牧井君からのパスを決めて1点取ると、4分には、横山君からのパスを牧井君がゴールのファーサイドにシュートパス、それを国広君が詰めるという、まさにフットサルのために皆で繰り返し練習してきた形がです。しかし惜しくもシュートならず！

負けはしましたが、仲間で気持ちを合わせて戦うことを得意とする6年生が最後まで勝つ気持ちを持って戦った好試合でした。

b y 伊藤コーチ



南の少女 選抜大会での活躍

1月9・10日の両日少女選抜が男子5年選抜と一緒に静岡市へ遠征しました。第18回静岡新春ジュニアU-11(男子)・U-12(少女)サッカー大会という大会で男子は24チーム、少女は12チーム参加の大きな大会です。少女は2日間とも草薙球技場の芝のピッチで行われ、八王子選抜はA・Bの2チームに分かれて参加しました。

南八王子SCの片寄安奈さん・西條さん・漆間さんの3名は八王子選抜Bチームになりました。Aチームは1位パートを勝ちあがり決勝で静岡選抜に惜敗して準優勝でした。一方のBチームは2位パートでの2位でしたが、南から参加した3名はそれぞれ持ち前の技術とガッツで頑張りました。

片寄安奈さんは4試合すべての試合で走りまくり、攻守に貢献し得点にも絡みましたが、8人制のワントップを務めました。味方が何でもかんでも安奈さんにボールを集め押し上げがないので苦しい試合ばかりでした。でも最後にチームの優秀選手に選ばれました。

西條真悠さんは主にバックをしましたが、的確な判断とボール処理でチームの要として頑張り、時には上がって得点したり大活躍でした。

漆間花菜子さんは5年生なので全ての試合の後半から出ましたが花菜子さんが入ると重苦しい試合がガラリと変わって、チームの攻撃のリズムが出て、リードされていても追いつきの起点の立役者になっていました。ドリブルと相手へのプレッシャーが素晴らしかったと思います。

3名ともいつもの南八王子での活躍通りの動きが出来て素晴らしかったです。良い経験になったと思います。

b y 内田コーチ

5年生の練習試合対太和田戦を観て

1月16日(日)文化大G

☆よかったこと

○左サイドで渡り廊下の攻撃がよく観られ、チャンスを創っていたこと。DF井上君のクロスオーバーも見事に決まってゴール前へのクロスを送っていました。

右サイドも、徐々に渡り廊下を使う攻撃が観られるようになってきた。

○やはり左サイドの渡り廊下。左MFの小沢君がストップゴールで相手を振り切りゴール前へのクロスを送っていたこと。

○DFのラインコントロールがよくできていた。GK牛窪君の声、DF中野君・林君のコーチングの声がよく聞こえる。

★課題

○DFの同一視ができず、ボールウオッチャーになり裏に入られての失点が多く観られた。ボデーシェイプと首振り。

○相手をかかわしたらスペースへ、ギャップへ鋭く速いドリブル突破が観られない。

○くさびのパスがほとんど観られない。トップにあててリターンパスをもらっての得点をねらっていない。

○相手DFの裏をねらう動き、裏をねらうスルーパスも観られない。

1月19日の午後練には、1年生から6年生までたくさんの子が参加していました。意欲が感じられて嬉しく思いました。課題解決も期待できます。

自分のめあて・チームのめあての達成をめざしてGAMBA!!

みんな上手になってきたよ！強くなってきたよ！ 都大会、都選抜大会での活躍も夢ではないよ！都代表もめざそうね！

b y 南のアンパンマン